

1. 基本的な考え方

○数値目標は設定いたしません、不測の事態が発生した場合でも計画停電を実施する状況にならないよう、今夏につきましても、昨年夏に取り組んでいただいた節電への取り組みを、経済活動に支障のない範囲で、可能な限り継続していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

○ただし、高齢者の方々、障害をお持ちの方々、被災された地域の方々など、それぞれのご事情のもと、無理のない範囲でご協力をお願いします。

2. 対象期間、時間帯

○対象期間：7月2日(月)～9月28日(金)の平日(8月13日～15日を除く)

○時間帯：9:00～20:00

3. 具体的な取り組み(事例)

(1)ご家庭における取り組み【参考1】

○エアコンの28℃設定、冷蔵庫・テレビの省エネ設定、不要な照明の消灯、待機電力のカットなどによる節電をお願いいたします。

(2)オフィスビルにおける取り組み【参考2】

○空調の28℃設定、照明の間引き、待機電力のカットなどによる節電をお願いいたします。

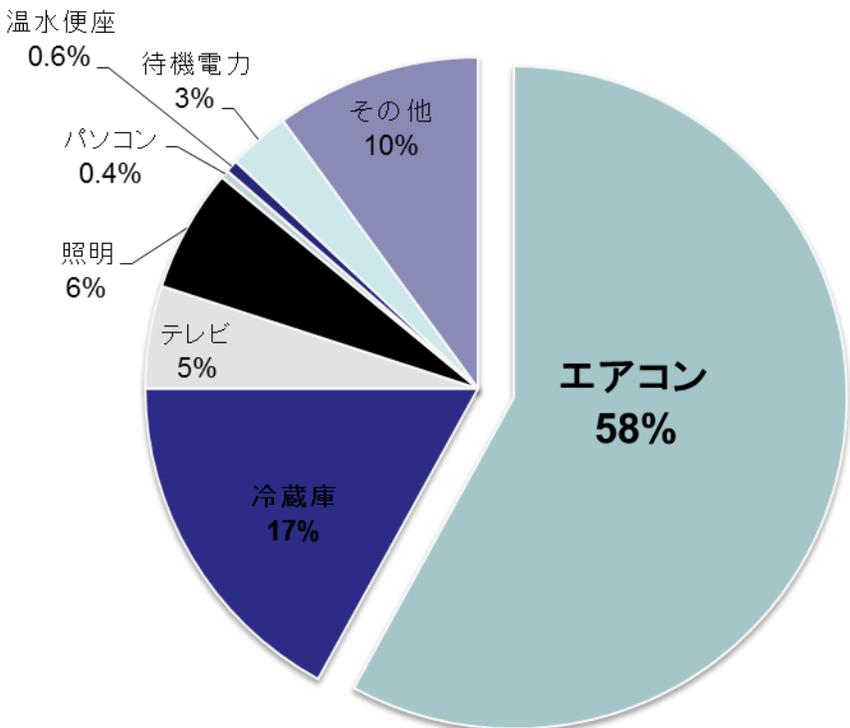
(3)食品スーパーにおける取り組み【参考3】

○空調の28℃設定、照明の間引き、冷凍・冷蔵機器の効率的な使用による節電をお願いいたします。

参考1 ご家庭におけるお客さまの具体的な節電の取り組み

○ご家庭の夏場の電気の使用状況を電気機器別で見ると、特にエアコンの使用割合が高いことが分かります。
 ○今夏も、エアコンの28℃設定、冷蔵庫・テレビの省エネ設定、不要な照明の消灯、待機電力のカットなどによる節電をお願いいたします。

夏の昼間（14時頃）の電気機器の使用例
 (在宅世帯の例)



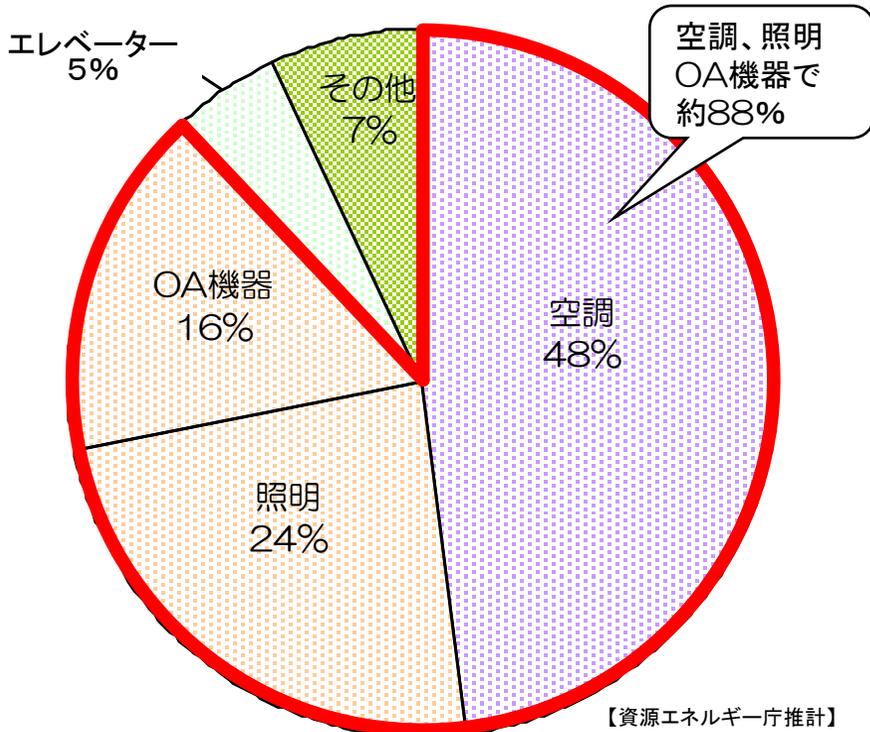
【資源エネルギー庁推計】

ご家庭におけるお客さまの主な節電事例	
エアコン	室温を28℃に設定する。
	すだれ等で窓からの日差しを和らげる。
	無理のない範囲で扇風機を使用する。
	フィルターを定期的に清掃する。
冷蔵庫	冷却設定を「中」にし、扉の開閉を必要最小限にする。
テレビ	省エネモードに設定し、必要時以外は主電源を切る。
照明	不要な照明を消灯する。
ジャー炊飯器	早朝に1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。
洗濯機	容量の80%を目安にまとめ洗いをします。
待機電力	リモコンの電源ではなく、主電源を切る。
	長時間使用しない機器はプラグから抜く。

参考2 オフィスビルにおけるお客さまの具体的な節電の取り組み

○オフィスビルでの電気のご利用の約9割は空調、照明、OA機器によるものです。
 ○今夏も、空調の28℃設定、照明の間引き、待機電力のカットなどによる節電をお願いいたします。

一般的なオフィスビルにおける用途別電力消費比率



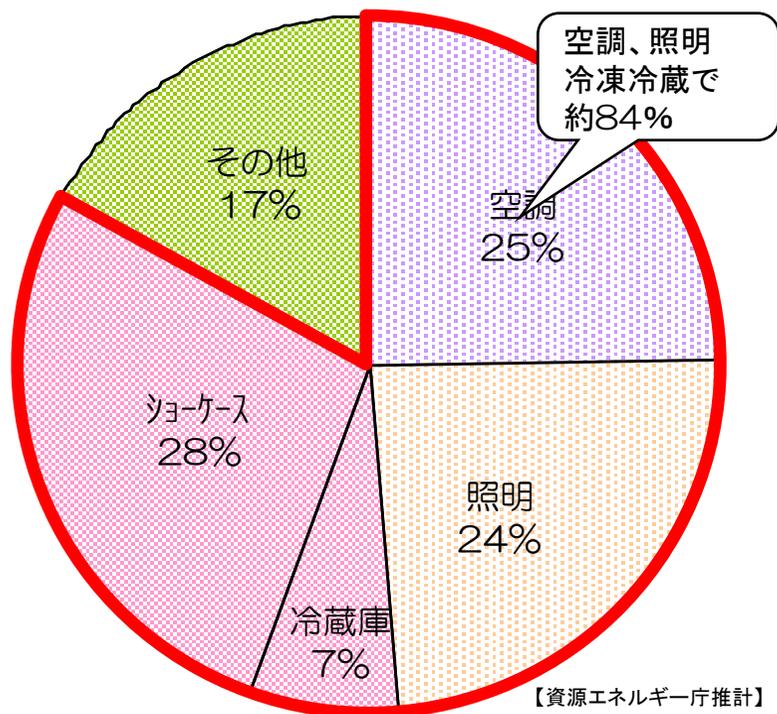
オフィスビルにおけるお客さまの主な節電事例	
空調	室温を28℃に設定する。
	使用しないエリアの空調を停止する。
	室外機周辺の障害物を取り除き、直射日光を避ける。
	フィルターを定期的に清掃する。
照明	照明の半分程度を間引きする。
	使用しないエリアを消灯する。
	昼休み等は完全消灯を心掛ける。
	従来型蛍光灯を高効率機器やLED照明に交換する。
OA機器	長時間使用しない場合は電源を切るか、スタンバイモードにする。
待機電力	給湯機、温水式便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。

○参考資料: 平成24年5月経済産業省「夏季の節電メニュー(事業者の皆様)」

参考3 食品スーパーにおけるお客さまの具体的な節電の取り組み

- 食品スーパーでの電気のご利用の約8割は空調、照明、冷凍・冷蔵によるものです。
- 今夏も、空調の28℃設定、照明の間引き、冷凍・冷蔵機器の効率的な使用による節電をお願いいたします。

一般的な食品スーパーにおける
用途別電力消費比率



食品スーパーにおけるお客さまの主な節電事例

空調	室温を28℃に設定する。
	使用しないエリアの空調を停止する。
	室外機周辺の障害物を取り除き、直射日光を避ける。
照明	日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。
	店舗の照明を半分程度間引きする。
冷凍冷蔵	使用しない照明は消灯する。
	従来型蛍光灯を高効率機器やLED照明に交換する。
冷凍冷蔵	業務用冷凍・冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄を行う。